

定住自立圏構想における基本問題検討ワーキンググループ（第5回）

要旨

【開催日時等】

- 開催日時：平成28年3月29日（火）15：00～16：37
- 場 所：総務省地下2階 第1会議室
- 出席者：辻座長、小西委員、高田委員、牧野委員、原田地域力創造審議官、黒瀬地域自立応援課長、小牧市町村課長補佐

【主な意見】

- 第4回の会合で確認したとおり、人口要件と昼夜間人口比率要件というのは汎用性が高く、これをベースにするという点は、この研究会では一致。
- 昼夜間人口比率については、医療施設や商業施設などへの利用者の流れも、通勤者動向に、一定程度、反映されているものと考えられる。
- 今後、少子高齢化が進む中で医療・福祉の重要性が増してくるため、医療・福祉の状態を重視してこれらを中心市の要件を補完するものとも考えることもできる。ただし、これは定住自立圏の制度の根幹にかかわるテーマであり、中長期的な検討課題となるか。
- 昼夜間人口要件を補完するものとして、現時点で位置づけ可能なのは受療動向か。
- 地方創生交付金において、個別の広域連携の取組みに対して支援が行われているところであり、こうした財源を活用し、定住自立圏の取組み以外にも、各自治体において地域の実情に応じて市町村間連携を進めることが期待される。
- 次回以降の検討課題として、定住自立圏の成果検証結果の分析、各自治体が定住自立圏の取組みを実施する際のKPIの設定のあり方等が挙げられる。